

# 毛無山・十二ヶ岳・鬼ヶ岳

2015.10.25 (日) 単独

天候が良さそうなので富士山の見える山々に登りに行ってきました。26日は越前岳に登りました。富士山は本当に美しい華麗な山ですね。

自宅 3:45～(安曇野IC、甲府南IC経由) 5:50 西湖根場(ねんば) 駐車場(152KM) 6:15～(折り畳み自転車で) 6:30 文化洞トンネル毛無山登山口 6:40～8:00 毛無山(1500M) 8:10～9:30 十二ヶ岳(山梨百名山、1683M) 10:00～10:35 金山(1686M) 10:40～10:55 節刀ヶ岳(山梨百名山、1736M) 11:10～11:25 金山～11:50 鬼ヶ岳(1738M、昼) 12:20～12:30 雪頭ヶ岳 12:40～14:00 堰堤～14:15 西湖根場P 14:30～14:40 自転車回収～(河口湖～須走間渋滞) 17:10 十里木登山口駐車場(車中泊)

日曜日なので駐車場が空いているか気になり早く出かける。数年前から計画していたコースにやっと登る日がやってきた。このコースは富士山の好展望と足場の悪い岩稜がある気になるコースであった。今回は折り畳み自転車を持参したので文化洞トンネルの毛無山登山口まで自転車を使った。全て緩やかな下り坂なので15分で着いた。自転車は盗まれないように立木に鎖で縛って登山開始。

折り畳み自転車を利用



登山道入り口



車が1台しか停まっていないのは足場が悪い箇所があるせいで登山者から敬遠されているのだろうか？(この推測は当たっていたようだ、毛無山～十二ヶ岳間は少なく、その先節刀ヶ岳～鬼ヶ岳間は登山者が多かった)歩き始めて人工内耳の予備電池を持参しなかった事に気が付く。今日で4日目なので間もなく電池切れになってしまう。困ったがどうしようもないので、電源を切って登る事にする。熊出没注意の看板が出ていたのでカウベルを装着する。大反省。松林の急坂が続き、やがて広葉樹林帯になると緩やかな登りになり毛無山の山頂着。

## 毛無山山頂



一ヶ岳から順番に山名が、ここは十一ヶ岳、  
向こうの山が十二ヶ岳です



富士山が目の前に雄大で華麗な山容だ。何時見ても素晴らしい名山だ。眼下には河口湖。山頂に2組いて鬼ヶ岳へ向かうと言う。少し進むと1ヶ岳の看板が出ている、続いて2ヶ岳・3ヶ岳と。小さなピークが続き十一ヶ岳から足場の悪い箇所が多くなる。急坂を下るとキレットに吊橋があり、十二ヶ岳への急な岩場の登りとなる。

## 険しい登山道



## 足場の悪い道が続きました



ロープ・鎖が連続する私好みの登山道で快感を感じる。十二ヶ岳まではこの2組のみであった。金山からは節刀ヶ岳を往復する。この付近から登山者が多くなった。富士山を常に眺めながらの気持ちの良い縦走路だ。勿論八ヶ岳・黒岳・三つ峠・御正体山・大菩薩嶺・本家の毛無山・大室山等も。眼下には西湖・河口湖を見下ろす。頂上にある岩が鬼の角のように見えるので名付けられたという鬼ヶ岳の山頂へ。ここも素晴らしい展望台だ。狭い山頂が登山者で賑わう。今日は王岳経由で下山予定だがとりあえず目の前の雪頭ヶ岳に向かう。この山頂は富士山方面の大展望が素晴らしい。

十二ヶ岳山頂、西湖・富士山



鬼ヶ岳、南ア

節刀ヶ岳



雪頭ヶ岳



ユックリしたくなる所だ。マツムシソウも咲いている。夏はお花畑のようだ。2組が寝転んでいる。地図を見るとここからも根場集落へ下山できるし、途中にブナ林もあると書かれている。もしかするとナメコが採れるかも。下山する事に決める。

#### ←マツムシソウ

急坂の連続で、確かにブナの木が多いが倒木や立ち枯れの木が古くてキノコっ気が全く無いし、土地も乾燥している。きよろきよろしながら下るが全く収穫無。人工内耳は話しかけられそうな山頂だけ使用した。案の定車中で電池切れした。(予備電池は車中に必ず置いておくので心配なし)

根場の駐車場は混雑していた。登山者と観光客が半々の感じ。自転車を回収して紅富士の湯で入浴して十里木の駐車場で車中泊予定だが今日は日曜日で河口湖～山中湖間が渋滞しそうだ。

### 西湖と上が河口湖



案の定大渋滞に巻き込まれる。しかも紅富士の湯は休館中の張り紙が道路わき何箇所にも掲出されている。HPには何も記載されていなかったが。仕方なく時間も遅くなってしまったので、入浴は諦めて、コンビニで食料と缶ビールを購入して車中泊する十里木へ向かう。それにしても毛無山は少し離れた朝霧高原近くに日本二百名山があるし、節刀ヶ岳とすぐ近くの雪頭ヶ岳も同じ読み方である、間違いやすいが。日本語は世界一難しい。(以降は次号に掲載します)

赤沼健治